

第18回通常総代会アピール②

中期5か年目標6千人を実現しよう

～安心のまちづくりと新しい医療介護事業活動実践のなかで

中長期計画の1万人組合員の達成にむけて

私たちは、2018年の第17回通常総代会で、10年ビジョンとそれに向かう中期5か年計画を決定しました。

「健康・平和・いのち輝くまちづくり」を中心的な柱として、すべての支部が居場所・たまり場づくりに取り組み、健康づくり、孤立から人とのつながりづくり、しずさとたすけあいによる「くらしの困った」の解決などに取り組んできました。

500世帯・1200人の稲葉地域では組合員世帯が10%を超えるまでに広がっています。こうした地域では、組合員の顔が見える関係のなかで、くらし安心のネットワークができあがりつつあります。中長期計画では、西濃地域で10%の世帯加入にあたる1万人組合員をめざす10年ビジョンを掲げました。同時に、その中間点として5年後に6千人組合員をめざす目標を掲げました。

6千人組合員の達成を基礎に、5か年目標「3つの柱」＝健康・平和・いのち輝くまちづくり・「最後まで自分らしく生きる」を実現する医療介護事業活動と診療所リニューアルの実現・ともに学び成長する組織づくり＝の実践を広げ、行政や地域との連携、医療生協の理念・価値への共感を広めて社会的役割を高めていきましょう。

こうした医療生協の将来展望に確信をもって、すべての活動を仲間ふやしにむすびつけていましょう。

2019年6月23日

西濃医療生活協同組合第18回通常総代会